

(1) 子ども・若者への支援の充実

方向性	子どもの貧困など、子ども・若者を取り巻くさまざまな課題に対応するため、引き続き、福祉と教育の連携を図りながら、多角的な支援を行います。また、本市内で新たな生活を始める新婚夫婦への支援を充実し、結婚しやすい環境づくりを推進します。
取り組み	<p>子どもたちに食事や学習、団らんの場などを提供する子ども食堂について、さらに必要な地域で実施されるよう引き続き支援を行います。子どもの貧困対策については、福祉と教育の連携を図りながら、生活環境や学習環境など、さまざまな角度から支援を行います。また、結婚に伴い本市内で新たに生活を始める新婚夫婦への居住費用などの助成について、本市独自の支援策として、補助金額の上乗せや所得要件の緩和を行い、結婚しやすい環境づくりを進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>子ども食堂の支援団体数：25 団体（H29 19 団体）</p> <p>結婚新生活支援補助金による支援件数：110 件（H29 104 件）</p> <p>平成 30 年度当初予算：49,526 千円</p>

9 月末の
進捗状況
【〇】

子ども食堂については、新規団体の開設に向けて補助制度の周知等に取り組むとともに、食材の提供の申し出があった企業との取り次ぎなど、団体の安定的な運営のための支援を行いました。子どもの貧困対策については、昨年 11 月に配置した「子どもの未来応援コーディネーター」が学校や子ども食堂への巡回を行い、スクールソーシャルワーカーと連携しながら支援を進めています。また、結婚新生活支援の助成については、本市独自の制度拡充を行い、引き続き、広報やホームページだけでなく、リーフレットの設置を市内の不動産会社へ依頼するなど、制度の周知に努めます。

(2) 待機児童対策の推進 及び 教育と保育の一体的・総合的なプランの作成

<p>方向性</p>	<p>「めざせ!!『通年の0(ゼロ)』」をキャッチフレーズに、いわゆる潜在的な待機児童も含めた待機児童の解消に向け、平成31年度当初までに500人の入所枠拡大を図るとともに、今後の保育需要を見据え、幼保連携のもと就学前の教育と保育のあり方に係る一体的・総合的なプランを作成します。</p>
<p>取り組み</p>	<p>通年での待機児童解消に向け、私立保育園の増改築、市立幼稚園の余裕保育室を活用した小規模保育事業の実施や香里ヶ丘地域における保育所の新設など平成31年4月当初までに500人の入所枠拡大を図ります。また、今後の保育需要の動向を踏まえ、小学校の余裕教室を活用した保育施設の設置について検討を行うとともに、待機児童の抑制につながる私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。入所枠の拡大に伴い、必要となる保育士確保の取り組みについては、引き続き保育士用住居の借上げや保育士資格の取得に対する支援を行うとともに、新たな取り組みについても検討します。さらに、公立保育所と幼稚園の入所・入園状況を踏まえ、幼保連携のもと、民営化や統廃合も含めた就学前の教育と保育のあり方に係る一体的・総合的なプランを早急に作成します。</p> <p>《目標値》</p> <p>保育所入所枠拡大による定員増 (H31年度当初定員増分含む)</p> <p>: 0~2歳 234人 3~5歳 63人</p>
<p>平成30年度当初予算: 1,125,966千円</p>	

<p>9月末の進捗状況</p> <p>【○】</p>	<p>平成31年度当初の入所枠拡大に向け、私立保育園の増改築や保育所新設のほか、小規模保育施設6箇所の開設に向けた取り組みを進め、10月に市立田口山幼稚園において開設します。また、私立幼稚園における預かり保育を推進するとともに、7月から2歳児の受入れに係る支援を行いました。入所枠拡大に必要な保育士の確保については、引き続き支援を行うとともに、保育士・保育所支援センターの設置に向け、検討を進めています。</p> <p>また、待機児童対策などの推進や、今後の公立施設のあり方について示すプランについては、「社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会」等での意見を踏まえ、「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン～公立施設の今後のあり方について～」(素案)としてまとめました。引き続き市民の意見を聞きながら、作成に向けて、取り組みを進めます。</p>
-----------------------------------	--

(3) 第3子以降の保育料の無料化など保育サービスの充実

方向性	保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりに向け、第3子以降の保育料無料化など保育サービスの充実を図ります。
取り組み	<p>所得や兄・姉の年齢に関係なく、第3子以降の保育料を本年9月から無料化するとともに、保育料軽減のために私立幼稚園に交付している私立幼稚園就園奨励費補助金についても、同様の負担軽減となるよう増額します。</p> <p>また、在宅で子育てしている方が、スマートフォンで手軽に子育てに関する情報を入手できるよう、平成30年1月に運用を開始した子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」を活用した情報発信を充実させるとともに、同時期に開始したファミリーサポートセンター事業の無料体験をより多くの方に利用していただけるよう周知を図り、子育ての不安感や孤立感の軽減につなげます。</p> <p>《目標値》</p> <p>子育て応援アプリ0歳児の年間登録数：1,680人</p> <p>ファミリーサポートセンター事業の無料体験クーポン発行件数：360件</p> <p>平成30年度当初予算：81,720千円（保育料無料化に伴う歳入の減として1億1,374万円を見込む）</p>

9月末の 進捗状況 【〇】

平成30年9月から、第3子以降の保育料を無料としました。併せて、私立幼稚園に交付する就園奨励費補助金も同様の負担軽減となるように増額して算定し、交付を行う予定です。

また、子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」を活用した各種イベント情報等の発信を行うとともに、乳幼児の保護者がファミリーサポートセンターの利用登録がしやすいよう、出張登録会を実施しています。

(4) 新児童発達支援センターの整備

方向性	新たな児童発達支援センターについては、平成31年4月の開設に向けて建築工事や施設周辺環境の整備を進めます。
取り組み	<p>知的障害児通園施設「すぎの木園」と肢体不自由児通園施設「幼児療育園」が抱える老朽化への対応や施設機能の充実などを図るため、両施設の機能を統合した新児童発達支援センターについて、平成31年4月の開設を目指し、建設工事や施設周辺環境の整備を進めます。また、開設後の定員拡大や、療育及び地域支援事業などの充実に向け準備を進めます。</p> <p>平成30年度当初予算：1,621,866千円</p>

9月末の 進捗状況 【〇】

建設工事や施設周辺環境の整備を行うとともに、平成31年度の開設に向け、適切な人員配置や実施事業の充実について進めています。

(5) 子ども総合相談センター「となとな」における相談支援の充実

方向性	児童虐待や不登校、ひきこもりなど、さまざまな困難を有する子ども・若者や、ひとり親家庭への包括的な支援を充実させるため、全国的に先駆けて設置した子ども家庭総合支援拠点の機能を活かし、より相談しやすい体制づくりを進めます。
取り組み	ひきこもりなどの子ども・若者への支援については、相談窓口のさらなる周知を図るとともに、新たに設置した子ども・若者支援地域協議会のネットワークを活かし、関係機関と連携した支援を図ります。また、ひとり親家庭への支援については、制度をわかりやすく紹介する応援マップを新たに作成します。 子育てで悩んでいる親に対しては、良好な親子関係をつくるための親支援プログラムを引き続き実施するとともに、新たに父親向けの支援プログラムを実施するなど、子ども家庭支援の推進を図ります。 また、児童虐待防止などの観点から子どもの権利擁護の充実に向け、里親制度への理解の促進を図るとともに、府や関係団体と連携し、里親の増加に取り組みます。 ≪目標値≫ 以下の相談件数について、短期的には増加、中長期的には減少を目指します。 ・児童虐待に関する延べ相談件数： 23,000 件 (H29 見込み 21,200 件) ・ひきこもり等の子ども・若者に関する延べ相談件数： 2,280 件 (H29 2,072 件) ・ひとり親延べ相談件数： 790 件 (H29 見込み 737 件)
平成 30 年度当初予算： 4,850 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	子ども・若者支援地域協議会の実務者会議を 4 月、6 月、8 月に開催し、関係機関と連携した支援を進めました。ひとり親家庭の支援については、制度をわかりやすく紹介する応援マップの作成を進めています。 また、親支援プログラムを 4 月と 1 月の 2 回開催するとともに、10 月より 7 回連続講座として父親向け支援プログラムを実施します。2 月には里親や子育てについて理解を深める市民向け講座の開催を予定しており、引き続き、子ども家庭支援に取り組みます。
-------------------------------------	---